

16 工事関係者等による火災

【関連章第6章2】

事例1 「新築工事現場で充電中の非純正品バッテリーが出火した火災」

出火時分 3月 9時ごろ

用途等 新築工事中建物

被害状況 建物ぼや1棟 充電器1台 バッテリー1個焼損

概要

この火災は、新築工事現場で作業中に発生したものです。

出火原因は、作業で使用する電動工具のバッテリーが、充電中に何らかの要因で短絡し出火したものです。

作業員は、電動工具のバッテリーを充電し、作業をしていたところ破裂音が聞こえたため、音がした部屋を確認したところ、充電していた電動工具のバッテリーから炎が上がっているのを見ました。

発見者の作業員は、工事現場にあった粉末消火器を2本使用し初期消火を実施しました。また、同じ現場にいたもう一人の作業員は、火災が発生した旨を上司に伝え、連絡を受けた上司が事務所の固定電話で119番通報を実施しています。

教訓等

この火災は、工事作業中に発生しており、火災に気付いた作業員が適切に初期消火を実施したため、延焼拡大を防いでいます。工事現場では、資材や塗料等、火災の延焼拡大につながる可燃物が多く持ち込まれていることから早期の対応が重要です。

また、今回出火したバッテリーは、使用していた電動工具の純正品ではなく、互換性がある海外メーカーの非純正品でした。近年、インターネットの通販サイトやオークションサイト等では、互換性を謳っている商品が多く見られますが、商品によっては火災につながる場合があります。火災を防ぐためにも、商品説明が不十分で信用できる情報がない廉価商品には注意が必要です。

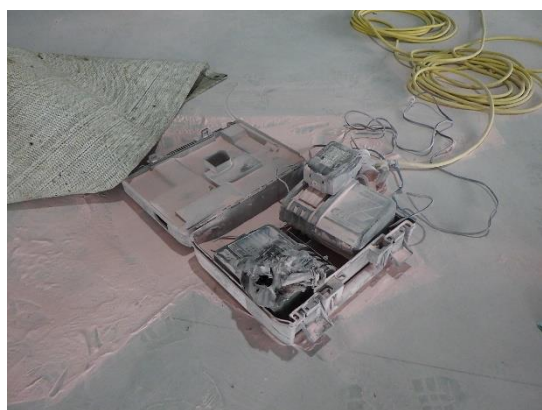


写真 16-1 出火したバッテリーの充電状況

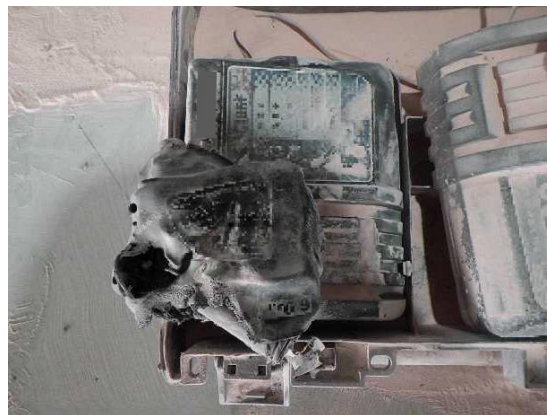


写真 16-2 出火したバッテリーの状況